

第13回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 本部長指示

新型コロナウイルス感染症は、東京都をはじめ首都圏を中心に全国で感染が再拡大している状況です。

本市におきましても、7月下旬から新規感染者数が急拡大し、本日、過去最多となる54名の新規感染者が報告されました。

本市の感染の傾向としまして、市外、県外の感染拡大地域へ移動して感染し、家庭内で感染を引き起こしたり、感染予防対策が不十分な大人数での会食やパーティーなどが原因と考えられるケースが数多く報告されています。また、長引くコロナ禍で「自粛疲れ」といった気の緩みも原因の一つと考えられます。

現時点の本市の感染状況は、国の警戒ステージでは、概ねステージⅣにあたり、「爆発的な感染拡大と深刻な医療提供体制の機能不全が懸念される段階」に差し掛かっています。

今後、企業の夏休みやお盆の帰省など、人流がさらに増加する時期となりますが、本市の医療提供体制を維持し、医療崩壊を何としても食い止めるために、本日、再度、本市独自の「感染拡大警戒宣言」を発令いたします。

各本部員におかれましては、公私を問わず機会を捉えて、基本的な感染予防対策の徹底と感染リスクの高い行動を慎むことなどに緊張感を持って取り組むことを今一度、各部局において指導していただくようお願いします。

また、感染予防対策を効果的に展開するためには、官民連携の取り組みも重要です。このため、産業部を中心に商工会議所等とも連携して、感染拡大地域への出張や夏休み期間中の県外への移動の自粛などを広く市民、事業者の皆さまに働きかけるようお願いします。

さらに、最近では、若年層の感染が多く報告されていることから、学校教育部では、各学校に対し、夏休みの部活動で体育館や教室内のこまめな換気の励行や屋内屋外問わず会話時にはマスクを着用するなど、基本的な感染対策を徹底するよう、感染リスクを避ける対応の指示をお願いいたします。